

令和 2 年度
福岡美容専門学校
福岡校

学校関係者評価
報告書

(自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日)

福岡美容専門学校 学校関係者評価委員

委員長 学校管理委員長 安部 健二郎

副委員長 学校管理副委員長 水田 一

委 員 学校管理委員 萩元 清彦

学校管理委員 橋本 優美子

令和2年度 福岡美容専門学校 福岡校 学校関係者評価結果

【評価 適切・4 ほぼ適切・3 やや不適切・2 不適切・1】

1. 教育理念 目標

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| A、学校の理念・教育方針・人材育成像は定められているか | 4 |
| B、学校の目指す職業教育の特色が理解され、指導に活かされているか | 4 |
| C、社会のニーズを的確に捉え、学校の将来構想が示されているか | 4 |
| D、学校の理念・教育方針・育成人材像・特色・将来構想が学生や保護者に周知されているか | 4 |

本校は、福岡県の美容組合が次世代を担う後継者を育成するために力を合わせて設立した美容師養成施設です。大変長い歴史を有し、数多くの美容師をこれまで育成して来ました。

その設立時に掲げた理念である「次世代を担う後継者の育成」は現在も固く守られていると認めます。また、その理念に沿った学校計画づくりと学校運営が本年もなされていることを確認しました。

令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の急速な拡大の中、リモート授業や分散登校などこれまでにない工夫をしながら学校運営を行い、292名の卒業生を無事に送り出したことを高く評価します。

2. 学校運営

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------------|----|
| A、教育方針・目標に沿った運営方針が策定されているか | 4 |
| B、運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 |
| C、運営組織や意思決定機能は明確で有効に機能しているか | 4 |
| D、教職員の人事、給与に関する規定は明確に、正當に整備されているか | 4 |
| E、教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか | 4 |
| F、教育活動などに関する情報公開は適切になされているか | 4 |
| G、情報システム化等による業務の効率化や省力化が図られているか | 4 |

運営方針の策定や事業計画の立案も大変有効に機能していると認めます。多数の職員が係りながら、組織を運営する中、管理職はその職能を発揮し、統制のとれた組織づくりが出来ています。

意思決定については校長以下管理職が状況に応じた判断をし、意思決定を下しています。

ここ数年来は教職員の人数も増えたため、管理職だけでなく広く職員から学校運営や学生指導についての意見を集め、それぞれが自由で正確な意思決定が出来るようにしてください。

また、昨年度より学校自己評価や財務状況などをウェブサイトで公開していますが、学校の状態を多くの方に理解してもらおうとする努力を認めました。今後も是非継続してください。

今後はコロナ禍における就業体制を整え、リモートワークをさらに取り入れ、より安全な学校運営を目標としてください。

3、教育活動

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| A、教育理念・教育方針・目標に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか | 4 |
| B、育成人材像や業界のニーズを踏まえて、修業年限に応じた教育の到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 |
| C、実習・学科などのカリキュラムは体系的に編成され、学習指導方法の工夫や研究などが職業訓練という視点で行われているか | 4 |
| D、美容業界との連携によるカリキュラムの作成やその定期的な見直しがなされているか | 3 |
| E、美容業界と連携して、実践的な職業教育を目的とした実務実習（インターンシップ）が行われているか | 4 |
| F、授業評価を行うため、研究授業等の評価体制は適切に実施されているか | 3 |
| G、職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4 |
| H、成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か | 4 |
| I、人材育成の要件を備えた教員が、教育目標に沿って確保されているか | 4 |
| J、美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の向上のための取り組みは行われているか | 3 |
| K、職員の能力開発のための研修は行われているか | 3 |

この項目は美容学校にとっても特に重要な項目ですが、年間を通して受けた報告によると教育活動とその成果については引き続き高いレベルにあると認められます。

美容業界はいわゆる「流行」「トレンド」を把握し、それを表現する技術や感性を磨く必要があります。そのためにもまずは教職員が流行を理解し、最新の技術を学び、学生指導が出来るよう技術の研鑽に励んでください。令和2年度はコロナ禍にあつて学校運営は大変苦心をしたことと想像します。しかし、教職員がこのスキルを磨かない限り学生のこれ以上の成長はあり得ません。今後も是非研鑽を続けてください。

4、学習成果

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------|----|
| A、就職率の向上はなされているか | 4 |
| B、美容師資格の取得（国家試験合格）はなされているか | 4 |
| C、その他美容関連の資格取得はなされているか | 4 |
| D、資格取得に対する指導や支援が行われているか | 3 |
| E、退学率の低下が図られているか | 4 |
| F、卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか | 4 |

入学者数と退学率、就職率、国家試験合格率 資料①

| 入学年度 | 入学者数 | 卒業者数 | 退学数 | 退学率 | 休学数 | 就職者数 | 就職率 | 国家試験 受験者数 | 合格者数 | 合格率 |
|---------|-------|-------|------|-------|-----|-------|-------|--------------|-------|---------|
| H28 年度生 | 316 名 | 295 名 | 20 名 | 6.32% | 1 名 | 289 名 | 98.0% | 296 名 | 296 名 | 100.00% |
| H29 年度生 | 309 名 | 298 名 | 11 名 | 3.55% | | 291 名 | 97.7% | 298 名 | 294 名 | 98.66% |
| H30 年度生 | 274 名 | 260 名 | 14 名 | 5.11% | | 243 名 | 93.5% | 260 名 | 255 名 | 98.08% |
| H31 年度生 | 318 名 | 291 名 | 27 名 | 8.49% | | 267 名 | 92.1% | 291 名 | 285 名 | 97.93% |
| R2 年度生 | 320 名 | | | | | | | | | |

この分野においても令和 2 年度福岡美容専門学校福岡校が達成した成果は引き続き非常に高いものであると認めます。

コロナ禍の中での就職指導と、国家試験への指導が実を結んだことを認めます。就職率、国家試験の合格率、検定取得率は引き続き高く、教育活動が正しく行われていることの証左です。特に美容師国家試験においては全国的に見てもこのような高い合格率を維持している大規模校は数えるほどしかありません。今後も是非継続してください。

5、学生支援

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| A、進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 |
| B、学生相談に関する体制は整備されているか | 4 |
| C、学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 |
| D、学生の健康管理の支援体制は整備されているか | 3 |
| E、課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 |
| F、学生の生活環境への支援体制はあるか | 3 |
| G、保護者と適切に連携しているか | 4 |
| H、卒業への支援体制はあるか | 4 |
| I、社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか | 4 |
| J、高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか | 4 |

現在の学生は、アルバイトの取り組みの面でも、奨学金の給付率を見ても、決して経済的に豊かではない学生が多くを占めていると言えます。そんな学生に寄り添い、奨学金受給までの指導なども継続して支援をしてください。令和 3 年度入学者への学費支援としての授業料減免や在校生への支援も高く評価します。それこそが美容組合立の学校としての機能です。

また、面談など学生と対面し、コミュニケーションを取り、経済的な悩み、精神的な悩み、肉体的な不安など彼らに寄り添った指導を継続してください。福岡美容専門学校はただ技術のみを教える学校ではありません。一人の人間が社会に出るための準備を行う場としての教育活動を行ってください。

また、学生本人だけではなく保護者や高等学校、その先生方とも情報交換をする場や触れ合う場をさらに持って連携を取っていくことを望みます。

6、教育環境

| 評価項目 | 評価 |
|------------------------------------|----|
| A、施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか | 4 |
| B、海外研修などの実施の体制は整備されているか | - |
| C、防災に対する体制は整備されているか | 4 |

美容教育は各種の美容施設、設備、機材の取り扱いを指導することが重要です。多くの施設は正確なメンテナンスを受け、常に最新の状態を保つよう学校は心掛け、学生が正しい使用法を身に着けることが出来るようにしてください。そして流行に沿った最新の施設であるよう提案を続けてください。

海外研修の渡航先決定や、実施に当たっては何よりも学生の安全を最優先項目としてください。コロナ禍の中では何よりも学生にとって安心安全な研修先や滞在先を検討してください。

7、学生募集

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| A、学生募集活動は適正に行われているか | 4 |
| B、学生募集活動において、本校の理念や募集ポリシーを正確に伝え、誇大宣伝等誤解を与えることの無いよう誠実に行っているか | 4 |
| C、学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 |
| D、学費は妥当なものとなっているか | 4 |

この分野での本校の活動は適切であり、本校の理念や、美容業の実情を正しく志願者へ伝えることが出来ていると評価しています。

昨年も伝えたように、学生募集は広報部が策定し、実施する営業活動を教職員が万難を排して支えてください。本校は福岡市という大都市にあり、県下のみならず九州一円、山口県からも多くの生徒が最良の教育を求めて集う学校です。コロナ禍にあって県外からの来福が困難なケースも考えられますから、インターネット等を活用し、遠隔地に在住する志願者に飾ることなく、誇張することなく本校の教育について正しく理解してもらえることを目標としてください。

8、財務

| 評価項目 | 評価 |
|----------------------------|----|
| A、中長期的に学校の財務基盤は安定しているか | 4 |
| B、予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4 |
| C、財務に関する会計監査は適正に行われているか | 4 |

| | |
|----------------------|---|
| D、財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |
|----------------------|---|

この分野でも本校の経営状態は良好であると認めます。

また、本年よりウェブサイト上に財務状態を公開したことも高く評価します。これについては今後も積極的に継続し、本校の良好な状態を広くご理解いただけるよう努めてください。

9、法令などの遵守

| 評価項目 | 評価 |
|----------------------------------|----|
| A、法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか | 4 |
| B、個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか | 4 |
| C、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| D、自己評価を公開しているか | 4 |

福岡県下唯一の組合立の学校である本校はすべてにおいて法に従い、則った学校でなければいけません。そのためにも最新の法令や通知に従い、公明で正大な学校運営を心掛けてください。

また、自己評価については昨年度より本校ウェブサイトにて公開していますが、これによってより多くの志願者や、保護者、高等学校の先生方に加えて業界全体に本校の活動をご理解いただけたことと思います。このことを高く評価いたします。

10、社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------------------|----|
| A、学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか | - |
| B、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | - |
| C、地域に対する公開講座・教育訓練受託などを積極的かつ定期的に行っているか | - |

今年度はコロナ禍にあつて地域貢献やボランティア活動を実施することが出来なかったと報告を受けました。大変残念ですが学生や地域の方々の安全のためにも止むを得ない事です。令和3年度は新型コロナの感染状況を見極めながら学生の安全を図った上で是非再開するようにしてください。学生と教職員、そして学校が地域の方々と密接に触れ合い、連携をし、社会的な存在として認知されることを強く望みます。

11、総合評価

各項目の詳細を委員にて点検し、そして確認をいたしました。本年も福岡美容専門学校福岡校は大変良い運営がなされ、大変良好な状態であることを確認しました。

国家試験の合格率や就職率、検定取得状況や学生募集などの結果は非常に高水準ですが、対外的に印象の良い数字だけではなくその背後にあつてそれを達成するための職員の努力と工夫を高く評価いたします。

昨年も伝えたとおり、本校は福岡県下で唯一無二の「美容組合が設置、運営をする美容学校」であり、業界を代表する団体が運営をするもので、その責任は重大です。

教職員にはそのことをさらに強く理解し、今後の運営に当たることようにしてください。

学生の指導は決して技術だけを指導すれば良い訳ではありません。精神面を鍛え、マナーを身に付けさせ、そして今年度突如として問題となった新型コロナウイルス等の感染症についての理解も深め、美容室がその根本にある「衛生」を社会の中で守り抜くための知識と技術も是非強く指導して下さい。

社会に出ても臆することなく美容の道を切り開ける「自立した」学生をこれからも育成してください。

今後も福岡美容専門学校福岡校が成長することを大いに期待しています。

以上